

平成 30 年度 決算認定審査報告

ふくしま森林再生事業

林業振興費、委託料、5億3、439万7、992円中、5億2、829万2、320円はふくしま森林再生事業の業務委託料となっている。

議員

事業の進捗状況を問う。

市

ふくしま森林再生事業は市内の人工林、約2、300ヘクタールの50%、約1、200ヘクタールの森林整備を進める事業で、令和7年度まで予定しており、現在436ヘクタールが完了、進捗率は36%となっている。

今後の森林整備について、令和2年度までは、ふくしま森林再生事業を活用して、山上地区と八幡地区の一部を整備することとしている。

令和3年度以降は、事業の継続が未定となっており、現在、県が、国に対して、継続を要望している。事業継続となった場合、中村地区、磯部地区、玉野地区と順次整備範囲を拡げて進めていく予定だが、継続とならなかった

場合においても、森林環境譲与税基金条例によって積み立てられる基金を活用しながら、同様に順次整備範囲を拡げて進めていく予定である。



ふくしま森林再生事業によって整備された森林（粟津字石ホ口地区）

市民税の収納状況

個人市民税現年課税分は、前年比約3、000万円の増額となっており、主な要因は製造業、建設・建築関係者の所得増によるもの。法人市民税現年課税分については、前年比約3、000万円の増加となっており、主な要因

議員

個人市民税、法人市民税の不納欠損、収入未済の状況を問う。

市

個人市民税の不納欠損の状況は、現年分と滞納繰越分を合わせて、約200万円である。震災後、被災者に対し、執行停止の処分を行っており、平成23年から平成28年までと比較し、平成29年度からは落ちついてきている。

今後の見通しについては、平成29年度以降の執行停止額がふえている関係もあり、令和2年度以降、不納欠損については増加する見通しである。

収入未済については、個人市民税で、今年度が約1億5、100万円で、平成29年度より、約900万円が増えている状況である。この原因は、執行停止処分が少ない時期が続いていたので、その分の滞納が積み重なったためと考えている。

は過年度分で約4、000万円の修正申告があったことによるもの。固定資産税、現年課税分は、前年比、約1億3、000万円の増額となっており、増額の主な要因は、償却資産の増設によるもの。

平成 30 年度相馬市一般会計・特別会計歳入歳出決算一覧

(単位：円)

会 計	歳 入		歳 出		歳入歳出差引額
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額	
一般会計	22,773,344,693	21,837,507,717	22,773,344,693	20,930,879,437	906,628,280
国民健康保険特別会計	3,902,631,000	3,888,148,577	3,902,631,000	3,829,295,837	58,852,740
後期高齢者医療特別会計	409,386,000	407,619,007	409,386,000	405,976,820	1,642,187
介護保険特別会計	3,611,267,000	3,685,577,919	3,611,267,000	3,442,376,212	243,201,707
公共下水道事業特別会計	1,494,860,000	1,494,679,212	1,494,860,000	1,472,513,967	22,165,245
農業集落排水事業特別会計	34,296,000	34,600,052	34,296,000	33,543,103	1,056,949
光陽地区造成事業特別会計	1,172,588,000	1,178,249,514	1,172,588,000	1,165,714,410	12,535,104
計	33,398,372,693	32,526,381,998	33,398,372,693	31,280,299,786	1,246,082,212